

4月19日さいたま市長メッセージ

皆さん、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

皆さんは、学校や職場などで、AEDがどこに設置されているかご存知でしょうか。

AEDは、心室細動を起こした際、心臓に電気ショックを与え、心臓を正しいリズムに戻すための医療機器です。心臓が止まってしまうと、時間の経過とともに救命の可能性が低下してしまうため、一刻も早い処置が大変重要となります。

さいたま市では、これまで市の施設にAEDを1台ずつ設置してまいりました。しかし、急に意識を失ったり、呼吸をしていないといった緊急事態は、施設の中に限らず、24時間いつでも起こる可能性があります。そして、その対応は一刻を争います。

そこで、施設が開いていない夜間や休日でもAEDを使用できるよう、市立中学校全58校の正面付近や、10区すべての区役所の入口付近にAEDを新たに設置しました。

また、施設の中のどこからでも1分以内にAEDにたどりつけるよう、順次設置台数を増やし、市役所本庁舎では、地下1階を含む全てのフロアに設置を完了しました。

一方で、AEDが設置されていることは知っていても、どこに設置されているかわからない、という声もよく聞かれます。市の施設内のAEDは「原則、トイレの近くに設置する」としておりますので、ぜひ覚えておいてください。

市民の皆さん、まずは、学校や職場などで、一番近いAEDの設置場所をご確認ください。一緒に、安心、安全なまちづくりを進めていきましょう。